



だいの風

日高市立武蔵台小中学校

令和7年1月8日 第17号

今年度のキーワード「対話・創造・挑戦・交流・表現」

学校教育目標

- 自立 かんがえる子・じょうぶな子
- 創造 かんどうする子
- 共生 なかよくする子



「笑顔を大切に」



秋馬 信之



新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は、保護者・地域の皆様から本校の教育活動に対しまして、温かいご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございました。今年も教職員一同、「たくましく未来を切り拓き一步上を目指す台っ子」「みんなが笑顔になる学校」を目指し、全力で教育活動に邁進しますのでよろしくお願い致します。

さて、3学期の出発に当たり「笑顔の大切さ」についてお話をします。「笑う門には福来たる」という古いことわざがあります。これは、「いつも笑顔でにこやかに笑っている人の家には、自然と幸福がやって来る」という意味です。私たちが毎日生活していく中で、時には腹の立つことや落ち込むときもあるでしょう。しかし、努めて笑顔を心がけていれば「良いことがある」という教えでもあります。なぜなら、「笑顔」はまわりの人たちを快くさせるばかりではなく、自分の心までが和んで元気が湧いてくるからです。また笑顔になると口角があがるので、ドーパミンという幸せホルモンが出てくるそうです。ドーパミンとは快樂に関係する物質で、ドーパミンが分泌されると、「楽しい」「面白い」「ワクワクする」などの感情が湧き上がり、前向きな気持ちになるそうです。

ところで、よく、私たちの出会いの中で一番「第一印象」が大切だと言われています。その第一印象の中で、何が印象に残っているかをアメリカの心理学者であるメラビアンが調査しました。すると、「顔（身なり）、表情が55%、声の質や声量が38%、話す内容は7%」という結果が出ました。すなわち、これらのデータを総合してみると「笑顔で元気よく話す」ということが、周囲の人々に大変良い印象を与えるということになるわけです。是非、クラスの友達や人との関わりの中で生かしてみてください。なお、9年生は、いよいよ2週間余りで私立高校の入学試験が始まり、公立高校の入学試験へと続きます。その中で多くの方が面接試験に臨むと思いますが、「笑顔で元気よく話す」ということを意識してもらえればと思います。

それでは、皆さん！笑顔で元気を出して、締めくくりの三学期をスタートしましょう。

笑顔に関する言葉

- ・下を向いていたら、虹を見つけることは出来ないよ。(チャップリン)
- ・楽しいから笑うのではない。笑うから楽しいのだ。(ウィリアム・ジェームズ)
- ・人の顔を美しくする最高の美容術は笑いである。(斎藤茂太)
- ・薬を10錠飲むよりも、心から笑った方がずっと効果があるはず。(アンネ・フランク)
- ・笑顔には、人の心を明るく柔和で好意的にさせてくれる偉大な力があります。従って常に笑顔を心がける人の未来は、ポジティブに飛躍するようになるのです。

(ジョセフ・マーフィー)

- ・幸せだから笑うのではない。笑うから幸せになれるのだ。(アラン)
- ・ただ微笑むだけで、どれほど幸せになれることか。(マザー・テレサ)

家庭学習の充実に向けて

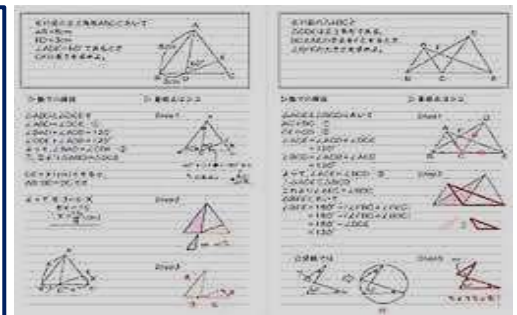
①自宅学習システムの更なる活用を②家庭学習ノートの充実を③学習時間の確保を

eライブラリ（自宅学習システム）を活用しているでしょうか。このeライブラリは、近隣の自治体では導入しておらず、日高市では子どもたちの学習習慣をつけることや学力向上を目指し平成29年度から運用を行っています。eライブラリはWi-Fi環境にあれば、1年生（小1）から9年生（中3）までのドリル教材（国語・算数・数学・理科・社会・英語）等を学力や学習の進度など、個々のニーズに応じて自宅で学習ができるので、家庭学習の充実を図るうえでの重要なツールといえます。

しかし、ここで押さえておきたいことは、自宅学習システムは、あくまでも「毎日の家庭学習の補助」であるということです。大切なことは毎日の地道な家庭学習、自学自習したことを「ノートに書く」ことです。学習したことをしっかりノートに書く習慣をつけてください。

【家庭学習：ノートに書くことのメリット】

- ・ノートに書くことで、思考の曖昧なものが明確になる。
- ・ノートに書くことで、思考を整理し構成力を鍛えられる。
- ・ノートはいつまでも、振り返ることができ定着を促す。
- ・ノート学習を積み重ねていくことで、学習の足跡が残り満足感を得ることができ、学習意欲につながる。



また学力向上は「学習の量」×「学習の質」といっても過言ではありません。学力向上が学習の量と学習の質の積だとすれば、一定の学習量は必須です。当然、一方が「ゼロ」であればその積も「ゼロ」になりますが、学習の質が同じであれば、学習量が多いほど当然学力向上に効果があるわけではあります。右図は令和6年度埼玉県学力・学習状況調査「児童生徒質問調査」からの抜粋です。本校児童生徒の「土曜日や日曜日など学校が休みの日に1日あたりの勉強時間が1時間以内・全くしない割合」です。これを見ますと、前期課程の6年生は、昨年度より勉強時間が増え県平均より約4ポイント低いですが、4、5年生の5割以上が、休日の勉強時間が「1時間以内・全くしない」ということがわかります。また後期課程では、7年生は学習時間が増えた一方、8、9年生は学習時間が減っていることがわかります。9年生については、現在入試に向けしっかり勉強時間を確保していると思いますが、8年生の5割は勉強時間が「1時間以内・全くしていない」ということがわかります。学習の質はもちろん重要ですが、まずは、学習時間を一定量確保する必要があります。以前実施した全国学力・学習状況調査のクロス集計では、学習時間が短い子どもに比べ、長い子どもはそれぞれのテストの平均正答率が高い傾向にあると結果が出ていました。

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)
 <R6埼玉県学力・学習状況調査より:1時間より少ない・全くしない割合> 4月~5月実施

	4年	5年	6年	7年	8年	9年
県	43.1	40.4	39.4	30.8	33.7	27.8
本校	57.7	52.6	35.3	36.3	50.0	34.4
比較	14.6	12.2	-4.1	5.5	16.3	6.6
R5年度	51.3	63.6	54.2	20.0	15.7	24.3

勉強が分からないより分かる方がいいし、できないことよりできることが多い方が楽しいはずですが、できるようになるには、やはり地道にコツコツ勉強をすることです。そのためにも学習時間の確保が重要です。児童生徒の皆さん、まずは家庭学習を一日の生活の中でルーティーン化し学習習慣をつけましょう。保護者の皆様、今後も家庭学習の充実に向けて指導していきますので、ご家庭におかれましてもご協力をお願いします。

勉強が分からないより分かる方がいいし、できないことよりできることが多い方が楽しいはずですが、できるようになるには、やはり地道にコツコツ勉強をすることです。そのためにも学習時間の確保が重要です。児童生徒の皆さん、まずは家庭学習を一日の生活の中でルーティーン化し学習習慣をつけましょう。保護者の皆様、今後も家庭学習の充実に向けて指導していきますので、ご家庭におかれましてもご協力をお願いします。